

会計名 一般会計			家庭教育啓発指導事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	家庭教育の推進						
	目的	青少年育成市民運動の啓発、夜間街頭補導への参加、関係行政機関・団体との連携や連絡等を行い、地域における青少年健全育成の推進を図る。	主たる内容	○青少年育成市民運動地域推進員連絡協議会の開催 ○家庭教育啓発講演会の開催 ○市民運動強調月間等における街頭啓発活動の実施 ○青少年育成推進員研修会の実施 ○夏季特別夜間街頭補導への参加 ○児童生徒愛護の集いへの参加					
	関連計画								
	根拠法令	刈谷市青少年育成市民運動地域推進員設置要綱							
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・児童生徒愛護の集い 1回	
成果		青少年育成市民運動地域推進員の活動を通して、青少年の健全育成や人間形成の基本となる家庭教育の重要性について啓発し、家族がふれあい、絆の強い明るい家庭づくりを促進した。							
課題		青少年育成市民運動地域推進員の氏名、活動内容等を市民だよりで広報しているが、あまり認知されていない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		街頭啓発活動（回）		5	5	5	5	5	
成果指標		講演会参加者数（人）		164	174	175	250	250	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		339	321	336	410	合計	335,690 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	151,600 円	
		一般財源	339	321	336	410	需用費	155,790 円	
	職員人件費 ②		2,345	2,016	2,006	2,090	使用料及び賃借料	28,300 円	
	総事業費（①+②）		2,684	2,337	2,342	2,500			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			家庭教育啓発指導事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	子どもを健やかに育てる最初の間である家庭の役割の重要性について啓発を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		低い	青少年育成市民運動地域推進員を設置して啓発活動などを行っているが、推進員が各地区1名ではできることが限られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	青少年育成に関する市民への意識啓発については、市が主体となって行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	街頭啓発や青少年育成強調月間に講演会を実施することにより、家庭教育の重要性を周知することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
青少年育成市民運動地域推進員が各地区1名では、青少年の健全育成についてできることが限られてしまうため、青少年問題協議会で推進員の存続について検討し、青少年の見守りや啓発活動については、地域全体で行えるような体制づくりを検討する。					

会計名		ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	生涯学習課		
款	項					目	担当係	青少年係	
10	6					5			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	青少年に自然体験、地域活動、異世代交流など多様な機会を提供し、地域社会を基盤とした青少年健全育成の環境づくりを推進する。	主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業100千円を上限として補助金を交付する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民（青少年）	事業期間	平成16年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・採択3事業 「親子でチャレンジ・竹細工と流しそうめん」（双葉小PTAおやじの会等）「第17回小垣江ふれあい村」（小垣江小PTA等）「居場所づくりを考える映画上映会」（Film Staytion等）		・採択5事業 「ダンボール・トレース」（刈谷青年会議所等）「親子で！友達誘って！避難所生活体験」（双葉小PTAクラブ おやじの会等）「第18回小垣江ふれあい村」（小垣江小PTA等）「上映会を通じた居場所」（Film Staytion等）「サキュスケール」（東刈谷小親父の会等）		・採択2事業 「読-1ケラブリ」（刈谷青年会議所等）「井ヶ谷幼稚園焼き芋パーティー」（井ヶ谷幼稚園林ターズ会）		・応募7事業	
成果		補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを支援することができた。							
課題		PR先の拡充を行ったが、応募件数が伸びない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		補助対象採択事業数（事業）		3	5	2	7	7	
成果指標		参加者数（人）		746	785	253	1,050	1,050	
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		297	499	200	700	合計	200,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	200,000 円	
		一般財源	297	499	200	700			
	職員人件費 ②		1,329	853	849	774			
	総事業費（①+②）		1,626	1,352	1,049	1,474			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	青少年の健やかな育成のために地域団体が自ら企画・運営する事業に対し補助金を支出することは、有意義かつ継続的な活動を支援するために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	複数の地域団体が協働で青少年健全育成に関わり、地域の連携強化に繋がる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域住民及び非営利団体が中心となる活動の活性化にもなり、市が積極的に支援をすることは妥当と思われる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	青少年に多様な活動（自然体験、異世代交流等）の機会を提供し、家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
他の補助金等との整合性を検討しながら、家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成活動を支援する必要がある。					

会計名			放課後子ども教室推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	6	5								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	地域の方々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組を行う放課後子ども教室を開設する。 ○缶バッジ作り ○クリスマスグッズ作り ○抹茶体験 ○折り紙遊び ○英語遊び ○ニュースポーツ ○ダンス ○キッズヨガ など						
	位置づけ	関連計画	子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱							
		対象者	各小学校に在籍する児童	事業期間	平成20年度～					
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B事業実績 D実績 O 実施V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 かりがね小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 小垣江東小		市内全小学校（15校）で実施		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 体験活動や地域住民との交流を通して、子どもの社会性を育む機会を提供することができた。 学年、学級を超えた集団遊び等を通して、子ども同士の関わり方を学ぶことができた。 学校生活に慣れない子どもたちにも、学校に来る楽しみや元気を与えることができた。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> 教室のスペースに限りがあるため、登録者の受入れを工夫する必要がある。 放課後子ども教室の開設に伴い、コーディネーター等多数の地域の人材が必要となる。 開設校を増やしたことに伴う事務量増加に対し、実績報告や管理等方法の工夫が必要となる。 一部体験教室の合同開催について児童クラブと相互理解を深め、連携の強化を図る必要がある。 								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		開設校数（校）		14	14	15	15	15		
成果指標		登録児童数（人）		1,183	1,157	1,266	1,350	1,350		
他市との比較検証		開設状況 知立市：7校中7校、週5日、安城市：21校中3校、週1日、碧南市：7校中1校、週3日、各市とも小学校の空き教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）								
C事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		21,796	21,703	24,880	28,064	合計	24,880,193 円		
	財源	特定財源	12,643	12,584	12,480	16,150	賃金	3,262,860 円		
		一般財源	9,153	9,119	12,400	11,914	報償費	19,255,600 円		
	職員人件費②		4,845	4,730	4,706	5,418	需用費	539,570 円		
	総事業費（①+②）		26,641	26,433	29,586	33,482	役務費	422,289 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		放課後子ども教室推進事業費補助金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			放課後子ども教室推進事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安全・安心な居場所づくりは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域の方々をスタッフとして活用することにより、効率的な事業の推進を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力は必要であり、行政が主体となって積極的に関与することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	本事業に参加することにより、児童は日常的に交流することが少ない異年齢の子どもたちや地域の方々と接する機会ができ、本施策の青少年育成に寄与している。
	今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	30年度9月に小垣江東小において新設し、市内全小学校での開設が完了した。既設校についても、開設場所の確保やスタッフの養成を継続的に行い、円滑な運営維持に努める。放課後児童クラブとの総合プランにおいては、一体型の開催等の検討事項を勧奨し、事業の推進を図る。				

会計名			中高生の居場所づくり事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。		主たる内容	放課後に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）や学習支援を行うスタッフとして配置する。 ○場所 総合文化センター内談話コーナー ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法						
		対象者	市内在住または在学の中高生	事業期間	平成22年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・利用者数 延べ568人 ・実施したイベント 「苦手な英語がちょっと好きになる講座」始め9事業 イベント参加者数 延べ51人		・利用者数 延べ763人 ・実施したイベント 「多目的ホール開放」始め5事業 参加者数 延べ87人		・利用者数 延べ1,404人 ・実施したイベント 「多目的ホール開放」始め3事業 参加者数 延べ86人		・利用者数 延べ1,200人	
成果		仲間同士や大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。学習支援を併設し、利用目的を増やしたことにより、利用の活性化を図ることができた。							
課題		中高生の自主性や社会性を育む自主活動につながるイベント等の仕掛けが必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		延べ利用者数（人）		568	763	1,404	1,200	1,200	
成果指標		中高生が関わったイベントの回数（回）		3	9	13	15	15	
他市との比較検証		碧南市、高浜市が類似の事業を実施している。							
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,920	1,969	2,043	2,485	合計	2,043,479 円	
	財源	特定財源	0	114	220	470	委託料	2,043,479 円	
		一般財源	1,920	1,855	1,823	2,015			
	職員人件費 ②		2,501	2,171	2,160	1,935			
	総事業費（①+②）		4,421	4,140	4,203	4,420			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		地域未来塾等学校支援活動事業費補助金			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			<h2 style="margin: 0;">中高生の居場所づくり事業</h2>	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	地域でのコミュニケーションの欠如、若者の自立の遅れ等、社会環境が変化する中、中高生が気軽に立寄り社会参加できる場所が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	大学生をピアカウンセラーとして養成し、大学生自身の意識、能力向上に繋げ、またその大学生をスタッフとして配置することで事業の効果が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	中高生が放課後等に気軽に立ち寄るなかで交流を深め、悩み事を安心して相談できる環境づくりが必要であるため公共施設内に開設し市が関与する事が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	安心して過ごせる居場所を設け、同世代の仲間との交流や悩みの相談等を行うことで、中高生の自立を支援することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、中高生が放課後に気軽に立寄りることのできる居場所を提供するとともに、ボランティア活動や地域活動など中高生の社会参加を支援する。また、ピアカウンセラーもしくは学習支援員としての大学生スタッフの確保に努める。引き続き、学習支援を実施し、利用の活性化を図りたい。					

会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	13					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	中央生涯学習センターにおいて、大学連携講座を始めとする各種市民向け講座及びイベントを行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。	主たる内容	市民講座及び大学連携講座を開催する。講座や作品展示など、親子や一般を対象とした無料の生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」を年に1回開催する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤または在学の人	事業期間	～				
		実施方法	□直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 ■その他						
	B 事業 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・市民講座 32講座574人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座 73人受講 名城大学 2講座 61人受講 至学館大学 1講座 33人受講 ・刈谷まなびの広場 16講座311人受講		・市民講座 32講座633人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座112人受講 名城大学 2講座 89人受講 至学館大学 1講座 31人受講 愛知工業大学 1講座 12人受講 ・刈谷まなびの広場 9講座201人受講		・市民講座 32講座615人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座89人受講 名城大学 2講座80人受講 至学館大学 1講座30人受講 愛知工業大学 1講座36人受講 ・刈谷まなびの広場 14講座215人受講		・市民講座 32講座 ・大学連携講座 4講座 愛知教育大学 2講座 名城大学 1講座 至学館大学 1講座 愛知工業大学 1講座 ・刈谷まなびの広場 12講座	
成果		大学連携講座においては、大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上及び学習活動の活性化を図ることができた。 また、生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」については、子どもから大人までの幅広い世代を対象に行い、学習活動へ取り組みきっかけを提供することができた。							
課題		大学連携講座においては、実施する講座が単発講座になると目標値の達成が困難となる。講座の実施については大学の協力を得る必要があるため、大学との連絡調整を通じて引き続き一定の講座数を確保する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		市民講座の年間受講者数（人）		574	633	615	640	640	
成果指標		大学連携講座の年間受講者数（人）		167	244	235	300	350	
他市との比較検証									
C 事業 コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		11,762	12,014	12,167	13,132	合計	12,167,120 円	
	財源	特定財源	36	40	43	297	役員費	23,598 円	
		一般財源	11,726	11,974	12,124	12,835	委託料	11,874,000 円	
	職員人件費 ②		6,018	4,808	3,819	2,864	使用料及び賃借料	226,022 円	
	総事業費（①+②）		17,780	16,822	15,986	15,996	負担金、補助及び交付金	43,500 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		講座受講料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	各種講座、生涯学習イベントの開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供、生涯学習イベントの開催など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座及び生涯学習イベントを実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き中央生涯学習センターにおいて大学連携講座をはじめとする各種講座及び生涯学習イベントを行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			（仮称）野田市民館整備事業				担当部	教育部
款	項	目					担当課	生涯学習課
10	6	1					担当係	施設係
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	生涯学習					
		施策の内容	学習機会の充実					
	目的	野田地区に市民館を整備することにより、市民館を拠点とした地域住民のコミュニティ活動及び生涯学習の活性化を推進する。	主たる内容	○市民館の用地取得 ○市民館の建設 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 規模：延床面積 436.95㎡				
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画				
			根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱				
		対象者	市民（野田地区）	事業期間	平成29年度～平成31年度			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					
B 事業 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
			<ul style="list-style-type: none"> 実施設計 物件移転補償の積算 事業認定申請図書の作成 事業説明会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 用地取得 1,100.01㎡ 物件移転補償 		<ul style="list-style-type: none"> 市民館の建設 市民館備品等の整備 	
	成果	関係機関等との調整に難航したが、市民館建設用地を無事に取得することができた。事業認定手続きの一環として野田地区にて説明会を開催し、地域住民に周知することができ、市民館建設が望まれていることが確認できた。野田市民館建設準備委員会と密に連絡を取り、実施設計等を行い、市民館建設へ向け、着実に事業を進めることができた。						
	課題	関係機関等との調整に難航したため、用地取得が若干遅れたものの、予定通り市民館の建設工事に着手できる見込みであり、着実に建設事業を進め、事業を完了させる。						
	指標名称（単位）	実績値			目標値			
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	生涯学習を推進する市民館の施設数（施設）	22	22	22	22	23		
成果指標	各種施設が整い、学習活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（%）	77.8	—	77.0	77.0	78.0		
他市との比較検証	類似事例なし							
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①	0	15,790	120,451	217,900	合計	120,451,384円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	60,200円
		一般財源	0	15,790	120,451	217,900	委託料	815,184円
	職員人件費②	0	2,753	2,006	1,625	公有財産購入費	99,330,000円	
	総事業費（①+②）	0	18,543	122,457	219,525	補償、補填及び賠償金	20,246,000円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	405,391,193		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		187,491,193						
2年度以降の事業費見込		217,682,100						

会計名			(仮称) 野田市民館整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	刈谷市市民館建設整備協議会答申に基づき、一地区に一市民館を整備してきた経緯、平成27年野田地区分割を契機に提出された野田地区からの市民館建設の要望書等により、野田地区のコミュニティ活動の拠点施設に関する市民ニーズは高いと判断できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	刈谷市市民館施設整備要綱に基づき、地区世帯数からその規模を設定し、適正な規模での整備を推進している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民館は、日常生活圏における生涯学習を効果的に推進するため、市が設置して地区が管理運営する地区本位のコミュニティ活動拠点であり、これまでの効果的な施策の推進及び良好な管理運営実績から市主体で整備すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	野田地区に市民館を整備することで、講座や教室など地域のコミュニティ活動を実施する場が創出され、学習機会の充実、生涯学習の推進、住みやすさなどの市民満足度の向上への寄与が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成31年度に建設し、事業完了予定。 建設後は、野田地区のコミュニティ活動の拠点として、地区住民の利用に供するとともに野田地区が管理運営する野田地区本位の活動施設として管理運営を行っていく。					

会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1	担当係		推進係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	南部生涯学習センターと北部生涯学習センターにおいて、各種市民向け講座を行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。				主たる内容	○市民講座の開催 ・連続講座 ・1DAY講座		
	位置づけ	関連計画	生涯学習推進計画						
		根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤または在学の人			事業期間	～		
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 17講座251人受講 北部生涯学習センター市民講座 24講座294人受講 南部生涯学習センター1DAY講座 6講座105人受講 北部生涯学習センター1DAY講座 6講座88人受講 		<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 16講座 北部生涯学習センター市民講座 24講座 南部生涯学習センター1DAY講座 6講座 北部生涯学習センター1DAY講座 6講座 	
成果		市民講座において、今まで実施したことのないジャンルの講座を積極的に企画・実施することができた。また、市民講師企画講座で講師を経験し、引き続き市民講座の講師を務めたい市民の活躍の場を提供することができた。							
課題		市民講座のうち、定員に達しない講座がいくつかあった。市民が受講したいと思える講座を企画していけるように工夫する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		講座の年間受講者数（人）			—	—	738	750	800
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	23,988	24,253	合計	23,988,192 円	
	財源	特定財源	0	0	1,371	1,497	委託料	22,967,600 円	
		一般財源	0	0	22,617	22,756	使用料及び賃借料	1,020,592 円	
	職員人件費 ②		0	0	4,398	2,864			
	総事業費（①+②）		0	0	28,386	27,117			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		講座受講料			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き北部及び南部生涯学習センターにおいて各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			北部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	北部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。	主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令		刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	DO 実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> メインホール舞台機構改修（制御盤、操作盤） メインホール照明器具取替（スポットライト） 		<ul style="list-style-type: none"> 研修室棟2階排煙窓防水工事 メインホール照明器具取替（ホリゾントライト） 多目的ホールスクリーン取替 体育室前トイレ換気扇取替 		<ul style="list-style-type: none"> メインホール舞台音響設備制御機器改修工事 防火シャッター危害防止装置取付 研修室棟他屋上防水工事 メインホール舞台機構修繕（ワイヤーロープ） 浄化槽設備修繕 		<ul style="list-style-type: none"> メインホール舞台音響設備改修工事（調整ミキサー卓等） 防犯カメラ設置 非常用蓄電池触媒栓取替 		
成果		老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。								
課題		県が平成2年に開館した施設（愛知県勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設又は設備の老朽化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		北部生涯学習センター稼働率（％）		30.7	33.0	32.9	34.0	35.0		
成果指標		北部生涯学習センター利用者数（人）		67,224	74,584	74,901	75,000	76,000		
他市との比較検証		知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		17,280	10,020	21,653	14,700	合計	21,652,920 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	6,210,000 円		
		一般財源	17,280	10,020	21,653	14,700	工事請負費	15,442,920 円		
	職員人件費 ②		1,368	2,443	1,350	1,355				
	総事業費（①+②）		18,648	12,463	23,003	16,055				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			北部生涯学習センター施設改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	12			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	第3次刈谷市生涯学習推進計画に「交流圏の拠点施設」と位置付けられている施設であり、老朽化に伴う改修等を行うことは、施設を安全で快適に利用していただく上での必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	公共施設維持保全計画に基づき、施設又は設備の改修を計画的に実施し、予防保全の考えから施設の長寿命化を図ることで、コストの節減に効果を発揮している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	生涯学習施設の維持管理に必要な改修等は、施設所有者である市が負担するものであり、安全で快適な利用が可能な状態を維持することで、施設の利用促進及び生涯学習の推進に寄与する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	老朽化又は破損した施設又は設備の改修等を行うことで、施設を安全で快適な利用が可能な状態を維持し、施設の稼働率及び利用者満足度の維持又は向上に寄与するなど市民サービスへの効果が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
公共施設維持保全計画に基づき、今後も計画的に施設又は設備の改修等を実施していく。 また、日頃から指定管理者との連携を密にして施設の状態の把握に努めるとともに、施設の運営に支障をきたす破損等が発生した場合は緊急的に対応するなど最善の対応が行えるように努め、施設の稼働率及び利用者満足度の維持又は向上に努める。					

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	南部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。		主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> 加藤与五郎展示室・収蔵庫展示用資料製作 加藤与五郎展示室改装工事 加藤与五郎展示室調光型照明器具等取替工事 デッキテラス修繕 地下機械室煤煙濃度計取替 多目的ホール壁有孔ボード張替 		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（10台）取替 立体駐車場移動式粉末消火設備取替 照明制御盤更新 冷却水冷温水ポンプ軸受取替 冷却塔修繕 自家発電設備蓄電池取替 防犯カメラシステム修繕 エントランスホール修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（8台）取替 電話交換設備取替 シャワー便座設置 防犯カメラ増設 		
成果		老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。								
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）		41.5	42.9	41.5	42.0	43.0			
成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）		47,023	47,370	45,695	47,000	48,000			
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	9,259	23,711	11,450	合計 23,711,400 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 5,092,906 円			
		一般財源	0	9,259	23,711	11,450	工事請負費 18,618,494 円			
	職員人件費 ②		0	2,210	964	1,355				
	総事業費（①+②）		0	11,469	24,675	12,805				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	12			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	第3次刈谷市生涯学習推進計画に「交流圏の拠点施設」と位置付けられている施設であり、老朽化に伴う改修等を行うことは、施設を安全で快適に利用していただく上での必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	公共施設維持保全計画に基づき、施設又は設備の改修を計画的に実施し、予防保全の考えから施設の長寿命化を図ることで、コストの節減に効果を発揮している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	生涯学習施設の維持管理に必要な改修等は、施設所有者である市が負担するものであり、安全で快適な利用が可能な状態を維持することで、施設の利用促進及び生涯学習の推進に寄与する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	老朽化又は破損した施設又は設備の改修等を行うことで、施設を安全で快適な利用が可能な状態を維持し、施設の稼働率及び利用者満足度の維持又は向上に寄与するなど市民サービスへの効果が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
公共施設維持保全計画に基づき、今後も計画的に施設又は設備の改修等を実施していく。 また、日頃から指定管理者との連携を密にして施設の状態の把握に努めるとともに、施設の運営に支障をきたす破損等が発生した場合は緊急的に対応するなど最善の対応が行えるように努め、施設の稼働率及び利用者満足度の維持又は向上に努める。					

会計名 一般会計			市民休暇村大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	11					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	平成10年のオープンから20年を経過し、老朽化した設備等を更新するとともに、近年のトレンドや利用者ニーズを的確に捉えたリニューアルを実施し、施設の利用環境の向上と市民の福祉の増進を図る。	主たる内容	○建物及び設備の劣化状況調査 ○基本・実施設計 ○大規模改造工事 構造：鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階建て 敷地面積：34,310㎡ 延床面積：3,745㎡					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則					
		対象者	市民	事業期間	平成30年度～令和3年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		_____		・建物及び設備の劣化状況調査 ・リニューアル計画の作成		・実施設計	
成果		現状の施設及び設備に関して劣化状況調査を行い、今後20年施設を維持するための改修計画を作成するとともに、高い稼働率を維持していくためのさらなる魅力アップを検討し、リニューアル計画を作成することができた。							
課題		作成したリニューアル計画をもとに費用対効果を考慮しながら、必要最小限の経費で最大限の魅力アップを図ることができる実施設計を行うとともに、リニューアル後の魅力的な管理運営を行うための検討を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
	28年度	29年度	30年度	31年度	3年度				
成果指標	年間客室稼働率（％）	82.3	81.0	80.0	80.0	80.0			
活動指標	宿泊客数（人）	12,446	12,280	11,885	12,000	12,000			
他市との比較検証	尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止済 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済、碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①	0	0	3,715	35,000	合計	3,715,200円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,715,200円	
		一般財源	0	0	3,715	35,000			
	職員人件費②	0	0	1,196	1,238				
	総事業費（①+②）	0	0	4,911	36,238				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民休暇村大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	11			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	開館から20年経過した現在でも80%を超える高い稼働率を誇る人気施設であること、また近年の働き方改革などの社会情勢からも市民の余暇の活用を図る目的で設置された市民休暇村の果たす役割は大きいことから、その必要性は高いと判断できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	公共施設維持保全計画に基づき、開館20年を経過した施設又は設備を計画的に改修し、施設の長寿命化を図るための予防保全を実施するとともに、高い稼働率を維持するための魅力アップ改修を同時に実施し、効率的な投資を実施する。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	宿泊業は民間では成熟した産業であるため、市が実施する必要性は必ずしも高くないが、市が実施することで市民限定の特別な宿泊施設として、高い稼働率に裏付けられる高い市民ニーズに応えることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	豊かな自然環境の中、市民の心身の健全な育成と余暇の活用を図るといふ他に類のない市民サービスを提供することができ、市民のワーク・ライフ・バランスの実現を支援する施策に貢献する事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
令和3年度に大規模改造工事を実施し、事業完了予定。 事業完了後は、リニューアルした施設をしっかりとPRするとともに、新たな施設及び設備を活用した魅力的な管理運営を展開し、現状でも80%を超えている高い稼働率の維持拡大を図っていく。					

会計名 一般会計			文化振興事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	13					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	市民に舞台芸術とふれあう機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。		主たる内容	文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 また、発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。				
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成23年度～			
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		24事業(有料18事業・無料6事業)を実施、入場者延28,489人 ・大ホール利用 638回 214,252人 ・小ホール利用 497回 47,525人 ・リハーサル室1利用 357回 12,754人 ・リハーサル室2利用 516回 11,328人		29事業(有料23事業・無料6事業)を実施、入場者延35,329人 ・大ホール利用 687回 245,421人 ・小ホール利用 526回 47,944人 ・リハーサル室1利用 393回 13,528人 ・リハーサル室2利用 519回 12,581人		38事業(有料31事業・無料7事業)を実施、入場者延30,558人 ・大ホール利用 697回 245,942人 ・小ホール利用 589回 49,383人 ・リハーサル室1利用 364回 12,530人 ・リハーサル室2利用 552回 12,209人		30事業(有料25事業・無料5事業)を実施	
成果		・大ホールでの自主事業として、「東儀秀樹×古澤巖×coba コンサートツアー2018 TFC55 LEVEL5」(9月28日)、ミュージカル「ロミオとジュリエット」(12月26日～27日)などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与できた。 ・アウトリーチ事業を14箇所で開催し、市民が気軽に芸術鑑賞できる機会を提供できた。							
課題		・全体として満足できる入場者数だったが、引き続き事業数の確保だけでなく、事業を選別する段階から留意する必要がある。 ・より市民のニーズを捉え、実施内容について検討する必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		文化振興事業入場者数(人)		28,489	35,329	30,558	36,000	36,000	
成果指標		大ホール稼働率(%)		81.7	89.7	89.3	80.0	80.0	
他市との比較検証		同規模の文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、事業数 一宮市：一宮市民会館 13事業 広島県三原市：三原市芸術文化センター 19事業							
C 事業コスト		単位：千円		28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)	30年度事業費内訳	
	事業費①		29,610	30,429	31,795	33,583	合計	31,795,000円	
	財源	特定財源	0	0	1,500	0	委託料	31,795,000円	
		一般財源	29,610	30,429	30,295	33,583			
	職員人件費②		6,018	4,808	4,205	3,638			
	総事業費(①+②)		35,628	35,237	36,000	37,221			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		自治総合センターコミュニティ助成事業助成金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化振興事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	身近な場所で各種の文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	指定管理者による運営を行うことで、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。 大規模公演は、共同主催の形で実施し、リスクを抑えながら質の高い舞台公演を開催している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着もてるまちづくり」施策を実現している。 普及活動としての市民スタッフ育成事業や市民の発表支援を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。 また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ホール及びシティセールスとしての著名な公演の誘致と、市民や地域の文化芸術の振興に寄与する公演をさらにバランスよく編成する必要がある。					

会計名			青少年健全育成事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	6	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備							
	目的	市内小・中・高等学校等で組織する児童生徒愛護会の活動を中心に、児童生徒の生活指導、安全確保などの取組みを行い、青少年の健全育成を図る。	主たる内容	○児童生徒愛護会の開催 ○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○中学校区生活指導懇談会の開催 ○善行美徳表彰の実施 ○学区内危険箇所調査の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 ○のぞましい家庭教育のしおりの発行						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件24人 ・危険箇所調査99箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募564通 ・家族への手紙コンクール 応募881通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件25人 ・危険箇所調査85箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募399通 ・家族への手紙コンクール 応募642通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件31人 ・危険箇所調査97箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募644通 ・家族への手紙コンクール 応募900通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・児童生徒愛護の集い ・善行美徳表彰 ・危険箇所調査 ・家庭の日作文コンクール ・青少年作文コンクール ・家族への手紙コンクール ・合同街頭補導実施延べ400日		
成果		青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、学校、家庭、地域が青少年育成について情報交換を行い、共通の認識を得ることができた。また、学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し調査の効率化を図った。								
課題		平成26年4月からスマホの使い方に関する3つの提言を家庭に呼びかける取り組みを行ってきたが、今後、児童生徒愛護会としての継続的な取り組みになるよう模索する必要がある。 小中学校の児童生徒に関する取り組みを図ることはできているが、高校生の年代への取り組みが希薄である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		合同街頭補導（延べ日数）		400	400	400	400	400	400	
成果指標		善行美徳表彰（件）		21	21	21	21	21	21	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,239	2,270	2,276	2,625	合計	2,275,603 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	487,900 円		
		一般財源	2,239	2,270	2,276	2,625	旅費	21,400 円		
	職員人件費 ②		3,126	2,792	2,778	3,638	需用費	833,203 円		
	総事業費（①+②）		5,365	5,062	5,054	6,263	委託料	826,100 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			キッズクラブ事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	週末に子どもの安全・安心な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	小・中学生を対象に市内3箇所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぼぼ 南部生涯学習センター ・アイリス 刈谷市総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月 月3回土曜日の午前または午後					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市キッズクラブ事業実施要綱					
		対象者	市内在住の小・中学生	事業期間	平成17年度～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 586人 ・アイリス 302人 ・かきつばた 217人 合計 1,105人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 372人 ・アイリス 371人 ・かきつばた 188人 合計 931人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 326人 ・アイリス 524人 ・かきつばた 132人 合計 982人		【参加予定人数】 ・たんぼぼ 400人 ・アイリス 400人 ・かきつばた 200人 合計 1,000人	
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安全・安心な居場所を提供する事ができた。							
課題		ほとんどのプログラムは、申込不要であるため、参加児童に対するスタッフの過不足が生じる。また、各会場により事業の認知度に基づく参加者数の差が生じている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		開催数（回）		80	80	80	80	80	
成果指標		参加者数（人）		1,105	931	982	1,000	1,000	
他市との比較検証		高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。							
C 事業コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,779	2,807	2,899	2,957	合計	2,899,497 円	
	財源	特定財源	1,147	1,124	1,177	1,360	委託料	2,899,497 円	
		一般財源	1,632	1,683	1,722	1,597			
	職員人件費 ②		1,719	1,628	1,620	1,625			
	総事業費（①+②）		4,498	4,435	4,519	4,582			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		放課後子ども教室推進事業費補助金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			青年講座開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	青少年に多様な学習・体験活動の機会の場を提供し、生涯学習の推進、ボランティア活動への参加促進を図る。		主たる内容	市内在住・在勤または在学の18歳～39歳の青少年を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。 8回連続講座 年4回開催				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤・在学の18～39歳		事業期間	平成7年度 ～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BD 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・青年講座4回32講座 第1回 Clean up the body and soul 8講座 第2回 大人から始めるダンス講座 8講座 第3回 生涯学習リダー企画 8講座 第4回 歌って笑顔になろう 8講座 受講生延べ327人		・青年講座4回32講座 第1回 体に優しい野菜とお米のスイーツづくり 8講座 第2回 筆ペンで書いて伝える想いや気持ち 8講座 第3回 初心者のためのHip-Hop 8講座 第4回 憲俊流剣術殺陣の会 8講座 受講生延べ205人		・青年講座4回30講座 第1回 やってみよう！おうちでランチ、おもてなし 8講座 第2回 竹籠細工と革雑貨づくり 8講座 第3回 やってみよう！はじめてのフードアート 8講座 第4回 一眼レフ初心者のためのフォトレッスン 6講座 受講生延べ504人		・青年講座4回32講座	
成果		・青少年に多様な学習、体験活動の機会の場を提供することができた。 ・講座終了後に受講生が交流会を持つ等、仲間づくりの場を提供することができた。							
課題		・自主活動や生涯学習につながる講座を企画する必要がある。							
		指標名称（単位）				実績値		目標値	
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標	募集案内配布事業所数（ヶ所）	42	42	42	42	45			
成果指標	受講者数（人）	61	36	77	80	80			
	他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		556	547	433	739	合計	432,626 円	
	財源	特定財源	15	20	65	144	報償費	304,000 円	
		一般財源	541	527	368	595	需用費	3,176 円	
	職員人件費 ②		3,673	3,412	3,395	3,251	使用料及び賃借料	125,450 円	
	総事業費（①+②）		4,229	3,959	3,828	3,990			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		青年講座受講料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			成人式開催事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	青少年育成						
			施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的		刈谷市成人式実行委員会との共催で成人式を開催し、次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。			主たる内容		新成人の中から実行委員会を組織し、式の企画、運営を行い、心に残る成人式を開催する。		
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者		新成人(平8.4.2~平9.4.1生)			事業期間		~		
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		開催日	平成29年1月8日	開催日	平成30年1月7日	開催日	平成31年1月13日	開催日	平成32年1月12日	
会場		刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター		
対象者数		1,843名	対象者数	1,669名	対象者数	2,048名	対象者数	約1,850名		
参加者数		1,345名	参加者数	1,190名	参加者数	1,388名	参加者数			
成果		成人式を行うことにより、新成人が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。 実行委員会により自主的な式の企画・運営を行うことにより、社会参加の機会を提供することができた。								
課題		・実行委員の募集について学校の推薦に頼るところが多く、学校側の負担感が増しているため、公募による確保に移行できるように実行委員会の魅力発信に検討を要する。								
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		協力ボランティア(THE成人・次年度実行委員)の参加人数(人)				30	40	31	48	48
成果指標	成人式参加率(%)				73.0	71.3	67.8	73	73	
他市との比較検証	知立市、安城市、碧南市、高浜市、東浦町は成人式実行委員会を組織し、実施している。									
C 事業コスト V	単位：千円		28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)	30年度事業費内訳			
	事業費①		4,007	3,797	3,978	4,663	合計 3,977,583円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 3,361,253円			
		一般財源	4,007	3,797	3,978	4,663	使用料及び賃借料 616,330円			
	職員人件費②		3,908	4,808	4,784	5,031				
	総事業費(①+②)		7,915	8,605	8,762	9,694				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)			0	30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費			0					
2年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計		ボーイスカウト日本ジャンボリー参加補助 事業				担当部	教育部		
款	項					目	担当課	生涯学習課	
10	6	5			担当係	青少年係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	国内外の参加スカウトが一堂に会し、多様な体験や交流活動を行うことにより、青少年の健全育成を図るとともに、国際感覚を養い、国際理解、国際感覚の向上を促す。			主たる内容	スカウト運動最大の教育イベントとして4年ごとに開催される大会への各団代表スカウト及び指導者等の参加に対し補助金を交付する。 第17回日本ジャンボリー 平成30年8月5日～8月6日 石川県珠洲市「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
――		――		刈谷市大会参加者11人 刈谷第1団6人 刈谷第10団4人 刈谷第11団1人 (大会参加者11,000人)		――			
成果		国内外のスカウトとの交流を通して、情報の共有・交換をすることができた。また、日頃の訓練の成果を発表するとともに多くの体験の中で新しい知識や技能を習得することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		大会参加者数（人）			—	—	19	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	450	0	合計	450,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	450,000 円	
		一般財源	0	0	450	0			
	職員人件費 ②		0	0	8	0			
	総事業費（①+②）		0	0	458	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			家庭教育地域推進事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	核家族化が進み、子どもへの接し方がわからないと不安を抱える親が増加している現状に対し、家庭教育の重要性を認識する必要があるため、各種事業を地域において実施し、家庭や地域の教育力の向上を図る。				主たる内容	○小学校区家庭教育推進協議会への事業委託			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		平成小学校区家庭教育地域推進協議会（平成小学校）実績2,935人 ・親子ふれあい遊び塾 ほか 平成小学校区家庭教育地域推進協議会（平成幼稚園）実績1,442人 ・体を動かして遊ぼう ほか		住吉小学校区家庭教育地域推進協議会 実績8,942人 ・50周年記念行事 ・ボランティア活動 ・児童体験教室 ・防災活動		住吉小学校区家庭教育地域推進協議会 実績1,398人 ・ボランティア活動 ・児童体験教室 ・避難所訓練 ・超巨大流しそうめんとペットボトルロケット大会		東刈谷小学校区家庭教育地域推進協議会		
成果		学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。								
課題		事業を委託する学校により活動内容が異なるため、参加者の増減のみで事業の達成度を評価することが困難である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		家庭教育地域推進事業の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		540	270	270	270	合計	270,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000 円		
		一般財源	540	270	270	270				
	職員人件費 ②		2,501	2,094	1,620	1,625				
	総事業費（①+②）		3,041	2,364	1,890	1,895				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			P T A 活動育成事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	6	1							
P L A 事 業 概 要 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	P T A 会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、P T A 活動の育成を図る。		主たる内容	○ P T A 連絡協議会育成補助 ○ 全国大会参加補助 ○ 東海北陸大会参加補助 ○ 会場借上料補助				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	各小中学校・幼稚園 P T A		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実 績 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会名古屋大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会徳島うずしお大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会敦賀大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会仙台大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会愛知大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会新潟大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会三重大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会兵庫大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業	
成果		総会、研究大会などの実施により P T A 活動の活性化を図ることができた。							
課題		毎年行われる全国大会・東海北陸大会の開催地や活動発表の有無により参加人数が異なり、それに合わせて補助額が増減する。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		P T A 総会など各種研修会の実施		実施	実施	実施	継続実施	継続実施	
指標									
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト 建 設 事 業		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		394	363	424	351	合計	423,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	423,500 円	
		一般財源	394	363	424	351			
	職員人件費 ②		2,892	2,481	2,392	2,477			
	総事業費（①+②）		3,286	2,844	2,816	2,828			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			生涯学習推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	推進係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組みを支援する。			主たる内容	○生涯学習啓発用品購入 ○生涯学習に関する研修会の開催				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 グループ・サークル研修会 生涯学習リーダーステップアップ研修 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 指導者研修会 生涯学習リーダー基礎知識講座 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 グループ・サークル研修会 生涯学習リーダーステップアップ研修 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 指導者研修会 生涯学習リーダー基礎知識講座 		
成果		生涯学習指導者に対し研修会を実施し、生涯学習活動への取組みを支援することができた。								
課題		生涯学習リーダーの活動が継続して行われるよう引き続き支援をする必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		生涯学習推進員（生涯学習リーダー）の人数（人）		39	27	32	32	37		
成果指標		グループ・サークル名簿登録団体数（団体）		199	203	207	230	300		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,534	1,901	1,455	1,854	合計	1,454,700 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	116,300 円		
		一般財源	1,534	1,901	1,455	1,854	旅費	11,900 円		
	職員人件費 ②		5,627	5,583	4,398	4,412	需用費	1,326,500 円		
	総事業費（①+②）		7,161	7,484	5,853	6,266				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			公民館事務費事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	愛知県公民館連合会・西三河公民館連絡協議会の実施する事業へ参加することにより、公民館事業の円滑な実施を図る。			主たる内容	中央公民館長表彰に要する経費のほか、愛知県公民館連合会・西三河公民館連絡協議会の実施する公民館関係事業へ参加するための経費を支出する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰4名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰10名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰14名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰10名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 	
成果		中央公民館長表彰の実施により、多年にわたる公民館活動への取組みを広く知らしめるとともに、他の者への活動の励みとなった。 県の主催する公民館関係事業へ参加することにより、各市町の活動状況などを把握することができた。							
課題		毎年総合式典に合わせて行われる中央公民館長表彰の対象者数により、記念品費などが増減する。 各種会議での報告は、会議へ参加しなくても書面で十分な場合がある。							
O 計画 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	活動指標	中央公民館長表彰実施及び各種会議参加			実施	実施	実施	継続実施	継続実施
	指標								
	他市との比較検証								
C 事業 コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		85	92	103	174	合計	103,454 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	28,000 円	
		一般財源	85	92	103	174	旅費	6,300 円	
	職員人件費 ②		2,501	3,257	2,083	2,477	需用費	47,754 円	
	総事業費（①+②）		2,586	3,349	2,186	2,651	負担金、補助及び交付金	21,400 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			社会教育主事講習実施事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	6	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	社会教育主事任用資格を取得することで職員の専門性向上を図り、市民の学習活動への取組みを支援する。			主たる内容	○講習参加費用の支出			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法						
	対象者	市職員			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		講習修了者 1名		—		講習修了者 1名		—	
成果		講習で得た知識を業務に活かし、市民の学習活動への取組みを支援することができた。							
課題		部署異動を考慮し職員を定期的に講習会に派遣する必要があるが、開催地が遠方の場合には職員の派遣が困難である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		講習参加			実施	—	実施	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		94	0	30	0	合計	29,940 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費負担金、補助及び交付金	10,940 円	
		一般財源	94	0	30	0		19,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	926	0			
	総事業費（①+②）		94	0	956	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			公共施設予約案内システム管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	パソコンや携帯電話により、公共施設の空き状況の確認や利用予約を可能とするシステムを運用する。	主たる内容	○システム運用保守管理委託 ○システム機器リース						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令		刈谷市公共施設予約案内システムに関する規則、刈谷市教育委員会公共施設予約案内システムに関する						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成13年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 機器リース 		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 機器リース 		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 機器リース 機器更新 		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 機器リース 		
成果		利用者は公共施設を利用するにあたり、予約手続きが容易になるとともに、施設側では使用料の現金収納が減ること、事務の簡素化及び現金の紛失・盗難のリスクを回避することができた。								
課題		システムの利用推進を図るため、予約案内システムを広く周知し、システムによる予約申込件数を増加させる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		システムによる施設予約申込件数（件）		81,970	84,839	86,266	87,000	88,000		
指標										
他市との比較検証		あいち共同利用型施設予約システム 安城市、知立市始め県内28市町 独自システム 碧南市、刈谷市ほか システム未導入 高浜市								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		10,922	10,674	12,899	10,317	合計	12,899,325円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	312,120円		
		一般財源	10,922	10,674	12,899	10,317	役務費	151,275円		
	職員人件費②		3,751	3,722	2,778	2,283	委託料	12,284,622円		
	総事業費（①+②）		14,673	14,396	15,677	12,600	使用料及び賃借料	151,308円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			市民館施設管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切な施設の管理運営を行い、地区活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。	主たる内容	○市民館の修繕及び樹木管理 ○指定管理者による管理運営					
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画					
		根拠法令		刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設維持管理要綱					
		対象者	市民	事業期間	昭和61年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 	
成果		指定管理者である各市民館運営委員会からの報告や経年劣化状況を踏まえ、施設に対する修繕及び樹木の剪定を行った。							
課題		今後とも地域の実情に応じ、地域に愛される市民館として、適切に施設の管理運営を実施するため、指定管理者である各市民館運営委員会との連携を密にし、施設の状況把握に努める。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	利用者満足度（％）		82.0	95.5	90.9	90.0	90.0		
指標									
他市との比較検証	類似事例なし								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		24,682	24,281	24,760	25,681	合計	24,759,524 円	
	財源	特定財源	50	39	19	29	需用費	2,790,236 円	
		一般財源	24,632	24,242	24,741	25,652	役務費	163,642 円	
	職員人件費②		3,087	3,296	2,508	2,748	委託料	21,805,646 円	
	総事業費（①+②）		27,769	27,577	27,268	28,429			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
	30年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料				
	2年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	11								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に市民休暇村の管理運営を行い、市民の福祉の増進を図る。	主たる内容	○市民休暇村の維持管理 ○指定管理者による管理運営						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令		刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則						
		対象者	市民	事業期間	平成10年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕 ・備品の更新		・指定管理者による管理運営 ・備品の更新		
成果		指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、80%を超える客室稼働率を維持することができ、市民の福祉の増進を図ることができた。								
課題		施設又は設備の老朽化などから今後は80%を超える稼働率を維持することも困難となることが予想される。指定管理者の管理運営に対するモニタリング、指導、助言を行い、リピーターを大切にしつつ新規利用者の獲得に努めるなど稼働率の維持拡大を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		年間客室稼働率（%）		82.3	81.0	80.0	80.0	80.0		
成果指標		ふれ愛パーク利用者数（人）		974	903	932	900	900		
他市との比較検証		尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止済 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済、碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		100,599	98,879	100,526	105,357	合計	100,525,958円		
	財源	特定財源	1	1	1	11	需用費	814,536円		
		一般財源	100,598	98,878	100,525	105,346	役務費	58,555円		
	職員人件費②		3,204	3,102	1,967	1,974	委託料	91,851,000円		
	総事業費（①+②）		103,803	101,981	102,493	107,331	使用料及び賃借料	3,634,907円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
2年度以降の事業費見込		0								
備品購入費		1,598,400円			負担金、補助及び交付金					
		2,568,560円								

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	11					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	生涯学習						
			施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的		市民休暇村の施設又は設備の老朽化に伴う補修を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容		施設又は設備の修繕		
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則							
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		—		—		畳表替え修繕 ・大広間 60帖 ・2階客室 和室 12帖×4室 和洋室 6帖×2室 ・3階客室 和室 12帖×4室 和洋室 6帖×2室		—		
成果		老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。								
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、継続的かつ適切に補修を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	年間客室稼働率（％）			82.3	81.0	80.0	80.0	80.0		
指標										
他市との比較検証	尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止済 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済、碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		28年度 （決算）	29年度 （決算）	30年度 （決算）	31年度 （予算）	30年度 事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	3,078	0	合計	3,078,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,078,000 円		
		一般財源	0	0	3,078	0				
	職員人件費 ②		0	0	463	0				
	総事業費（①+②）		0	0	3,541	0				
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）			0	30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費			0							
2年度以降の事業費見込			0							

会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。	主たる内容	○北部生涯学習センターの維持管理 ○指定管理者による管理運営						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令		刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成20年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営		
成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習を推進した。								
課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標	北部生涯学習センター稼働率（％）		30.7	33.0	34.0	34.0	35.0			
成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）		67,224	74,584	74,901	75,000	76,000			
他市との比較検証	知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		108,324	116,050	91,958	100,908	合計	91,958,088円		
	財源	特定財源	14,031	16,004	16,081	15,588	需用費	390,960円		
		一般財源	94,293	100,046	75,877	85,320	役務費	49,468円		
	職員人件費②		2,735	2,714	2,392	2,012	委託料	91,517,660円		
	総事業費（①+②）		111,059	118,764	94,350	102,920				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		北部生涯学習センター使用料 行政財産目的外使用料						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			南部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者より、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。	主たる内容	○南部生涯学習センターの維持管理 ○指定管理者による管理運営						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令		刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成13年度～					
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	D 実績 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・直営による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・直営による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		
成果		個人利用者を含む、多くの利用者が快適に利用できるよう適切な管理を行った。								
課題		施設の適切かつ効率的な維持管理（節電などの強化）を行いながら、利用者に快適に利用していただけるよう、施設の管理運営を行う必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		南部生涯学習センター稼働率（％）		41.5	42.9	41.5	42.0	43.0		
成果指標		南部生涯学習センター利用者数（人）		47,023	47,370	45,695	47,000	48,000		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		93,406	97,831	87,329	99,413	合計	87,328,695 円		
	財源	特定財源	24,397	24,919	9,706	9,702	需用費	16,278,253 円		
		一般財源	69,009	72,912	77,623	89,711	役務費	77,701 円		
	職員人件費 ②		6,252	6,204	2,778	2,012	委託料	67,894,046 円		
	総事業費（①+②）		99,658	104,035	90,107	101,425	使用料及び賃借料	2,831,375 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0		南部生涯学習センター使用料 行政財産目的外使用料 土地建物貸付収入				
2年度以降の事業費見込		0								
備品購入費				247,320 円						

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	13							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切に総合文化センターの管理運営を行い、生涯学習の機会及び文化・芸術活動の発表の場を提供する。	主たる内容	○総合文化センターの維持管理 ○指定管理者による管理運営					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成21年度～				
		実施方法	■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 実績 計画V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕	
成果		生涯学習及び文化・芸術の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習の推進及び文化・芸術の振興に寄与した。							
課題		指定管理者により適切に施設の管理運営が行われるようモニタリングを実施し、指定管理者への指導等を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		大ホール稼働率（%）		81.7	89.6	89.3	80.0	80.0	
成果指標		総合文化センターに対する満足度（%）		95.5	96.1	97.0	90.0	90.0	
他市との比較検証		知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席							
C 事業 コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		481,936	478,473	477,363	490,386	合計	477,362,663円	
	財源	特定財源	116,960	124,801	132,461	131,093	需用費	66,195,870円	
		一般財源	364,976	353,672	344,902	359,293	役務費	695,226円	
	職員人件費②		3,517	3,024	1,736	1,974	委託料	405,250,000円	
	総事業費（①+②）		485,453	481,497	479,099	492,360	使用料及び賃借料	4,933,807円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		中央生涯学習センター使用料 総合文化センター駐車場使用料					
2年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料					
						備品購入費	239,760円		
						負担金、補助及び交付金	48,000円		

会計名			集会所運営費等補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	集会所の管理に必要な経費の一部を補助することにより、地区活動の活性化及び生涯学習活動の推進を図る。	主たる内容	○集会所運営費補助 ○集会所借地料補助 ○集会所修繕費補助						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令		集会所設置等補助金交付要綱						
		対象者	市民	事業期間	～					
		実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 集会所運営費補助（33か所） 集会所借地料補助（9か所） 集会所修繕費補助 		<ul style="list-style-type: none"> 集会所運営費補助（33か所） 集会所借地料補助（9か所） 集会所修繕費補助 		<ul style="list-style-type: none"> 集会所運営費補助（33か所） 集会所借地料補助（9か所） 集会所修繕費補助 		<ul style="list-style-type: none"> 集会所運営費補助（33か所） 集会所借地料補助（9か所） 集会所修繕費補助 		
成果		集会所の維持管理に要する運営費、借地料及び修繕費を補助することにより、地区負担を軽減し、地区活動の拠点を確保に寄与した。								
課題		補助金の額、交付方法及び交付時期については、今後も継続して4年に1度、全庁的な補助金の見直しの時期に合わせて検討する。 また、集会所管理者への制度周知を実施し、集会所の維持に貢献する。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		集会所修繕費補助件数（件）		6	3	2	9	3		
成果指標		補助により運営を維持できた集会所数（箇所）		33	33	33	33	33		
他市との比較検証		類似事例なし								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		8,583	8,383	8,957	14,936	合計 8,957,282 円			
	財源	特定財源	7	7	7	6	負担金、補助及び交付金 8,957,282 円			
		一般財源	8,576	8,376	8,950	14,930				
	職員人件費 ②		2,266	2,404	1,505	1,509				
	総事業費（①+②）		10,849	10,787	10,462	16,445				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設補修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	総合文化センターの施設又は設備の老朽化に伴う補修を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	施設又は設備の修繕			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・スタンウェイピアノD27 4ハンマー交換修理		—		・冷温水発生機RH-2修繕 ・空調ポンプ修繕 ・中央監視装置修繕 ・舞台機構減速機潤滑油交換 大ホール、小ホール、リハーサル室1		・冷温水発生機RH-1修繕 ・駐車場エキスパンションジョイント蓋修繕 ・上水、雑用水加圧給水ポンプユニット修繕 ・空調機用自動制御ダンパ操作器等取替 ・直流電源装置蓄電池取替 ・施設棟周囲インターロッキング補修	
成果		老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、継続的かつ適切に補修を行っていく必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	成果指標	大ホール稼働率（％）			81.7	89.6	89.3	80.0	80.0
	成果指標	総合文化センターに対する満足度（％）			95.5	96.1	97.0	90.0	90.0
他市との比較検証	知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		2,633	0	35,813	23,500	合計	35,812,841円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	23,673,641円	
		一般財源	2,633	0	35,813	23,500	工事請負費	12,139,200円	
	職員人件費②		977	0	1,119	1,355			
	総事業費（①+②）		3,610	0	36,932	24,855			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民館施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	市民館の施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。		主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱						
		対象者	市民	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 空調機取替 桜市民館 外壁改修 一里山、築地、小山、桜、西部市民館 ※市民館施設補修事業で実施		<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水改修 中部、高津波、高須市民館 外壁改修 高須市民館 駐車場改修 熊市民館 大規模改造工事設計委託 西境市民館 ※市民館施設補修事業で実施		<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水改修 築地、小山、半城土市民館 外壁改修 半城土市民館 駐車場改修 中部市民館 		<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水改修 泉田、一ツ木、元刈谷市民館 外壁改修 泉田、一ツ木、元刈谷市民館 畳表替修繕 井ヶ谷、東境、桜、中部、元刈谷市民館 		
成果		公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設又は設備の修繕を行い、適切な施設の維持管理を行った。								
課題		空調機については、各市民館の建設年次及び空調機の設置年次からの経過年数を基に取替計画を策定し、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ、計画的に実施する。今後、経年劣化により設備の不具合の増加も予想されることから、常に各市民館の状況を把握していく必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		空調機更新率（％）		79.0	79.0	79.0	79.0	97.82		
活動指標		外壁改修率（％）		36.4	40.9	45.5	59.1	81.8		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	35,286	49,493	合計	35,285,760 円		
	財源	特定財源	0	0	0	224	工事請負費	35,285,760 円		
		一般財源	0	0	35,286	49,269				
	職員人件費 ②		0	0	1,582	1,587				
	総事業費（①+②）		0	0	36,868	51,080				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0		建物共済保険金収入				
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			公民館運営事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	参加・協働						
		施策の内容	地域活動の推進						
	目的	公民館活動の運営を行い、地区活動の活性化を図り、社会教育の活性化を目指す。		主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助				
	位置づけ	関係計画							
	根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱							
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(19地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(19地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(20地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助	
成果		各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を図った。							
課題		各地区の特性を生かした活動が行えるような支援を検討していく必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		公民館活動事業数(事業)		155	158	160	160	165	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)	30年度事業費内訳	
	事業費①		13,446	13,728	13,526	15,311	合計	13,526,225円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,337,000円	
		一般財源	13,446	13,728	13,526	15,311	負担金、補助及び交付金	3,189,225円	
	職員人件費②		5,627	4,808	2,855	3,251			
	総事業費(①+②)		19,073	18,536	16,381	18,562			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							